

専念寺通信

7月号 (NO. 155) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

梅雨あけ宣言が出されたとたんに猛暑が始まりました。みなさま、おかわりなくお過ごしですか？

☆盂蘭盆会

今年もお盆の季節がやってまいりました。古くは日本書紀に記述があるとされる仏教行事の盂蘭盆会、東京では旧暦の7月13日から15日までがお盆です。

亡くなった人の魂が帰ってくると言われるこの期間、日本の各地でさまざまなかたちで先祖の御霊を迎える行事が行われます。お盆の入りの日に迎え火を焚き、明けの日に送り火を焚く習慣は、東京のような住宅密集地ではなくなりつつあります。精霊棚をつくり、マコモの莫藪を敷いて、ほおずき、野菜や果物、素麺など



をお供えします。きゅうりや茄子にきびがらで脚をつけて馬や牛の形にした供え物を見かけることもあります。これは、先祖が帰ってくる時は、脚の早い馬に乗って来てほしい、あちら側へ戻っていく時はゆっくりゆっくり牛の背に乗って行ってほしい、という私たちの祖先の願いが込められてできたもの

です。四国、徳島の阿波踊りに代表される盆踊り、九州長崎の精霊流しなど、亡くなった人を迎えたり送ったりする行事は様々なかたちで受けつがれています。そして、京都の大文字焼きは五山の送り火として8月16日に行われます。

こちらは日本で一番美しいお盆の送り火と言えるでしょう。

専念寺では毎年、新盆を迎えられた檀家さまのための合同供養をおこなっています。今年は7月13日、土曜日の午前11時より行なわせていただきます。新盆を迎える檀家さまには、郵便、電話などでご連絡させていただきました。

☆戦争に反対します

いまの憲法を変えるか、変えないか、という議論が、テレビなどで聞かれるようになりました。憲法とは、社会をより良いものにするために国民が国家に守らせるために作ったルールです。憲法は、時の権力者が勝手なふるまいをしないようにするためにあるのです。憲法をかなり大幅に変えようと国のトップの人たちはいろいろな演説をします。どこをどう変えようとしているのかを注意深く聞きましょう。もし変わったら、その後の私たちの暮らしにどう影響するのか想像してみましょ。憲法の、とりわけ九条、戦争放棄は私たちの国の宝物です。8年くらい前に『戦争しやすい国になる』という小冊子を、専念寺でお配りしました。私共は終始、戦争に反対です。平和憲法を守る思いは変わりません。たくさんの報道の中から、どの意見が自分の希望に近いのかをよく考えることが大切です。そして、希望は決して捨てないことが何より大切です。暑い日々が続きます。どうぞ、皆さまお身体をたいせつにお過ごし下さい。平成25年7月1日 大黒

